

外国人乗船者の帰国に関するチャーター機派遣と隔離の状況について

2020年2月21日現在

国・地域	機数	日付	帰国者数	乗船者数	隔離	日数	備考
アメリカ	2	2/17	328	428	○	14	帰国者に米国籍以外 10 人含む。
オーストラリア	1	2/20	170	226	○	14	帰国者にニュージーランド国籍 6 名と第三国国籍者 5 名を含む。
カナダ	1	2/21	129	256	○	14	帰国者にカナダ国籍以外 2 名を含む。
イギリス	—	—	—	78	—	—	本資料作成時点でチャーター機を準備中。隔離については不明。
イタリア	—	—	—	35	○	14	本資料作成時点でチャーター機を準備中
ロシア	—	—	—	24	—	—	本資料作成時点でチャーター機や隔離については不明。
イスラエル	1	2/20	11	15	○	14	
韓国	1	2/18-19	6	14	○	14	別途日本人配偶者 1 名が韓国に入国。
台湾	※	※	※	22	○	14	※本資料作成時点で調整中
香港	1	2/20	106	350	○	14	乗船者数には香港籍以外の居住者（90 名）を含む。なお、日本ルールでの下船者にも、香港政府はチャーター便で帰国することを求める。個別帰国者も隔離予定。追加のチャーター機もあり得る。

※作成時点で、チャーター機で帰国後、隔離をしない国は確認されていない。

パネル写し

出所：外務省からのヒアリングにより山井事務所作成

内閣総理大臣 安倍晋三 殿

新型コロナウイルス感染症について 万全の対策を求める申し入れ

～国内外の英知を結集し、国民の生命と健康を守る～

立憲民主党・無所属フォーラム
国民民主党
社会保障を立て直す国民会議
社会民主党
新型コロナウイルス合同対策本部

新型コロナウイルス感染症の患者が日本国内でも増加し、同時に不幸にして死亡者も出ている。政府の場当たりの対応もあり、新型コロナウイルス感染症に対する国民の不安は、日々増大している。政府はより一層の危機感を持ち、総力をあげて対応すべきである。

私たちは国民の生命と健康を守り、経済への影響を最小限に抑えるため、現時点で必要と思われる対策を取りまとめたので、以下の通り申し入れる。

生命と健康を守るための検査・医療体制整備の強化

1. 国民の不安に寄り添うため、PCR検査を受けられる体制を早期に拡充すること。
2. 想定患者数を明確にしつつ、2次医療圏ごとの必要病床数の確認、並びに予想を上回った場合の対応方針を策定すること。その際、診療を行わない医療機関（産科や血液透析専門機関等）を決定しておくこと。
3. 医薬品、医療機器、衛生品の安定的な流通を確保すること。
4. 国内外の知見を活用し、治療法・ワクチン・簡易検査キットの迅速な開発に官民全力を挙げて取り組むこと。開発されたものについて、保険の適用範囲を検討すること。
5. 分野ごとの専門家による小委員会等を設置し、エビデンスに基づいた見解と対応を早急にとりまとめること。
6. 感染例を追跡する監視網の構築や封じ込め戦略を担う組織の設置を早急に検討すること。
7. 今後、国立感染症研究所について、より有効な組織や人員体制となるよう再構築すること。

クルーズ船関連対応

8. クルーズ船から下船した人に対する健康観察を徹底すること。
9. 現在実施されている船内の感染防止対策等を早急に点検し、必要な見直しを随時行うと同時に、乗客乗員に対し適切な情報提供を行うこと。
10. 陽性患者等を受け入れた地域・施設に対する十分な支援を行うこと。

予算措置の大幅な拡充

11. 上記の検査・医療体制の整備、観光・運輸分野、サプライチェーン等への経済的影響に対応するため、早期に予算措置を大幅に拡充すること。

経済・雇用対策

12. 日本経済の停滞が続き、消費税増税によってさらなる悪化のリスクが高まっている中で今回の事態が招くであろう景気後退リスクを深刻に受け止め、内需と雇用に重点を置いた根本的な経済対策を講じること。
13. 観光をはじめ、経済的に影響を受ける地域、企業等に必要に応じ適切な支援等を行うこと。
14. サプライチェーンの寸断等により影響を受けている中小企業に対して、信用保証の上限引上げや公的金融による支援拡大を行うこと。
15. 業績悪化による解雇や待遇悪化に備え、雇用安定のための対策を強化すること。

情報公開・情報提供等の徹底

16. 国民、企業などが不必要な混乱を避け、冷静で的確な行動がとれるよう、正確で必要十分な情報発信を適宜、適切に行うこと。特に、医療従事者、高齢者、学校関係者、訪日・在留外国人、海外等への情報発信には最大限の留意を行うこと。
17. 患者やその家族、海外からの帰国者等への偏見や差別を防ぐための対策を徹底すること。

以上

(健康カード)

ウイルス検査で陰性が確認され下船される皆様へ

- あなたは、船内の自室での待機をお願いした2月5日午前7時からの観察期間が経過し、ウイルス検査の結果『陰性』であることが確認されました。その結果、新型コロナウイルスに感染しているおそれはないと判断され、検疫所長より上陸が許可されました。
- 新型コロナウイルス感染症が日本国内をはじめ世界各地で発生していることに鑑み、下船後も、引き続き一般的な衛生対策を実施していただきますようお願いいたします。
 - ・石けんやアルコール消毒液を用いた手洗い
 - ・咳エチケット（ティッシュで鼻と口を覆う、マスクの着用する等）
 ※ なお、持病のある方は、公共交通機関や人混みの多い場所を避けてください。
- 下船後、健康上の不安がある場合、又は咳、発熱等の症状が出た場合等は、学校や会社を休み外出を控えるとともに、以下の連絡先にご相談ください。

▶ 日本国内に滞在中の場合

- ・新型コロナウイルス感染症に関することでご不明な点がある方は、こちらにご相談ください。
厚生労働省電話相談窓口：0120-565653

- ・咳や発熱などの症状が出た方は、こちらにご相談ください。

帰国者・接触者相談センター（都道府県設置） →



- ・外国語で対応ができる医療機関はこちらで探せます。 →



- ・駐日外国公館リストはこちらで探せます。 →



▶ 日本国外へ出国後の場合

- ・滞在中の国の保健当局又は出身国の大使館・領事館にご相談ください。



厚生労働省・検疫所

出所：厚生労働省提供資料

この紙は2週間お持ちください。

(健康カード)

ウイルス検査で陰性が確認され下船される皆様へ

- あなたは、船内の自室での待機をお願いした健康観察期間が終了し、新型コロナウイルスに感染しているおそれはないと判断されたため、検疫所長より上陸が許可されました。
- しかしながら念のため、下船した後も、以下のような行動をしていただき、感染拡大防止にご協力をよろしくお願いいたします。
 - ▶ 2週間は健康状態を毎日チェックし、不要不急の外出を控えてください。
 - ・不要不急の外出を控えるとともに、外出時には必ずマスクを着用してください。
 - ・毎日、体温測定を行い、発熱（37.5℃）の有無を確認してください。
 - ・咳や呼吸が苦しくなるなどの症状の有無を確認してください。
 - ・厚生労働省（又は保健所等）より、定期的に電話・メールであなたの健康状態を確認させていただきますので、確実に連絡のとれる連絡先をご記入し、下船時に検疫官に提出してください。
 - ▶ 一般的な衛生対策を徹底してください。
 - ・石けんやアルコール消毒液を用いて手洗いをしてください。
 - ・咳エチケット（マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って口や鼻をおさえる、マスクの着用等）を守ってください。
 - ▶ 咳や発熱などの症状が出た場合
 - ・すみやかに下船者専用ホットライン（24時間対応）に連絡し、その指示にしたがい、すみやかに医療機関を受診してください。医療機関を受診にあたっては、あらかじめクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」に乗り船していたことを電話連絡し、医療機関を受診してください。
 - ・マスクを着用し、学校や会社を休み、外出を控えてください。やむを得ず外出する場合は、公共交通機関は使用しないようにしてください。

<下船者専用ホットライン>

新型コロナウイルス感染症に関することは、こちらにご相談ください。

（24時間、土日・祝日も開設）

：0120-485-188（日本語）

：+81-3-3595-2176（英語）メール：follow-up@mhlw.go.jp

◇ 日本国内に滞在中の連絡先

咳や発熱などの症状が出た方	帰国者・接触者相談センター（都道府県設置）	
外国語で対応ができる医療機関を探す方	Japan National Tourism Organization サイト	
駐日外国公館と連絡を取りたい方	駐日外国公館リスト	



Ministry of Health, Labour and Welfare / Quarantine Station

出所：厚生労働省提供資料

とは、一般の国民も上様や空白でそれは通るといふことですか。

本当にこれは、上様、空欄宛て、これから確定申告のシーズンですけれども、本当にみんなそれでいいんですか。（発言する者あり）

○細橋委員長 お静かにお願いします。お静かに。

○田島政府参考人 お答えいたします。お静かに繰り返してまいります。先ほど領収書の要件について御説明いたしました。あわせて、先ほども申し上げましたが、そうした項目の一部が欠けた領収書があった場合には、これは一般論になりませんが、ほかの帳簿書類を含む帳簿書類全体を見た上で、実質、金銭の支出があったかどうかを総合的に判断することになります。

○山井委員 先ほどおっしゃったように、宛名は必要だということなんです。そういう脱法的な脱法的と疑われないようなことをANAホテルはやらないから、文書で回答してきているんですよ。それに対して、安倍総理が、やっています、やっていますと、言うというものは、本当におかし話なんです。

それで、コロナウイルス対策も重要なので、加藤厚労大臣にお聞きしたいと思います。

と、いいんです。きょう十時半から、クルーズ船から五百人の方が下船をされています。十時半からですから、もう今下船が始まっているから、それですね。

しかし、例えば、昨日、神戸大学病院の岩田健太郎先生、感染症の権威であります。がクルーズ船の中に入って、一日入った動画を配信をされ

今御答弁されたように、厚労省の現場の方、医師の方、自衛隊の方々を含め、本当に不眠不休で取り組んでくださっていることには本当に感謝と敬意をしております。

しかし、残念ながら、結果としてはこのクルーズ船でウイルスがどんどんどんどん感染が拡大して、昨日も八十八人感染が発見されたということに關しては、これは深刻な問題があったと言わざるを得ないと思います。

そこで、今言われておりますのが、けさの新聞にも出ておりますが、「クルーズ船 割れる対応」―「日本 陰性なら下船後は自由」、配付資料の十三ページ、アメリカなどは帰国後十四日間隔離方針ということなんです。

これに關して、きょう十時半に下船をされて、約五百人の方が横浜駅や東京で、そこで解散になって御自由に帰宅をされるというふうに関しておきます。電車に乗られる方、自宅に戻られる方、あるいは買物に行かれる方がおられます。

そういう中で、本当にその方々が自由の身になっているのか。私は下船をしていただくのは賛成です。ただし、その方々に関しましては、このアメリカの例などにもありますように、二週間ぐらい隔離をさせていただく、人権にも配慮しながら、御家族の方にとっても、もしかししたら、急に帰ってこられても、どうつき合っているのかとか、わからない部分があるかもしれない。

なぜこんなことを言うかという、私、一月三十一日の、この日の審議で、チャーター機から帰ってきた方を、どうしても自宅に帰りたいという

ました。六万人以上がリツイートして、非常に衝撃を与えています。

読ませていただきます。私もこの動画、十数分見ましたが、ダイヤモンド・プリンセスに入りました。感染対策は悲惨な状態で、アフリカのそれより悪く、感染対策のプロは意思決定に全く参与できず、そして、厚労省官僚が意思決定をしております。船内から感染者が大量に発生するのは当然です。それはひどいものでした。

この仕事を二十年以上やっていますが、アフリカのエボラとか中国のSARSとか、感染症と向き合ってきました。もちろん身の危険を感じることもあります。しかし、自分が感染症にかかるといふ恐怖はそれほど感じたことはありませんでした。しかし、ダイヤモンド・プリンセス号の中はもっと悲惨な状態で、心の底から怖いと思いました。これでは感染してもしょうがないのではないかと本気で思いました。

レッドゾーンとグリーンゾーンというのですけれども、ウイルスをいけるかもしれない危険なゾーンと安全なゾーンをきちんと分けて、そのような区別をするのが鉄則だけれども、クルーズ船の中ではグリーンもレッドもぐちゃぐちゃになっていて、どかが危なくてどかが安全なのか全く区別がつかない。手すり、じゅうたん、どこの食器、どこにウイルスがいるのか全くわからない。これは動画に出ておりますけれども、こういう状況であるんです。

それで、まず加藤大臣にお聞きしたいと思います。W H Oからも、船内の、クルーズ船の感染

人を三人帰したとおっしゃいましたよね、加藤大臣。私はそのときに、いやいや、それは、お気持ちちはわかるけれども、そこはやはり帰すとまずいんじゃないんですかと言ったけれども、いや、もうどうしてもおっしゃるから自宅に帰しました。そうしたら、結果的に、その後、お一人の方が感染したら、結果的に明らかになってしまったわけですよ。

だから、私は、ここは賛否両論あるのはわかります。わかるんですけれども、これは一旦、五百人の方からどんどんどんどん感染したら、今でさえ二十七人が感染経路がわからない感染者が出ているんです。もうこれは収拾がつかないことになりかねないと思うんです。だから、念のため、今からでも、やはり今後下船をされる方々に關しては二週間は隔離をさせていただく、そういうことを念のためやるべきじゃないんですか。

○加藤国務大臣 私ども、もちろん、中に乗っている方の健康確保、そして国内の感染の拡大防止、これはしっかりとやっていかなきゃいけないというのは当然のことです。

さらに、今回の対応の中においても、基本的にこの新型コロナウイルスというのは全貌がよくわからないというところが、これは一つの前提にならざるを得ない。他方で、W H Oからは十四日間健康確保期間を置けばという一つの指針が出ている。それ以外に、国内での状況、これらを、それからこの間のチャーター機から帰ってこられた方の実態の姿、ここを私どもの感染研で分析をしていた

症予防対策は不十分だったのではないかと批判が出ております。中国以外の世界の感染者九百八十八人のうち、クルーズ船にのっているのが五百四十二人、半分以上なんです。やはり、このクルーズ船における感染症予防対策が不十分であったということはお認めになりますか。

○加藤国務大臣 もう既に、クルーズ船は、横浜港に入港する前においても感染した人がいたということがある。そして、我々の手元の状況でも、その段階で発症されていたのではないかと、いう方がかなりおられる、そうした中で出てきたということでありました。

どこで感染したか、これは正直言って具体的な証拠はないので、一個一個証明はできませんけれども、通常、感染してから発症するまでの期間等を考えると、感染がその前であったと思われる部分もあると私は認識しております。

したがって、それに対して私どもとして最大限の対応を、民間の皆さんの力も本當にかりて、この感染症との闘いの中で、多くの医師の方あるいは自衛隊の皆さん方、総勢三百人近い方が現場に入って活躍をさせていただきました。

そうした力をいただきましたが、残念ながら、こうした発症数といえますか感染者数は出ていますけれども、そうした方々の重症化、それを防ぐために、必要な病院への搬送等、適切な対応はできる限りさせていただいている、こういうふうには認識しております。

○山井委員 私たちは、このことについては野党としても全面的に協力したいと思っておりますし、

だく中で、感染研の方から、十四日間しっかりと管理がなされて、そして陰性であった、最終的に健康確認がなされていけば、公共の交通機関を使ってもいいという示唆があり、さらに今回のいろいろな数字も出させていた中で、最終的に判断をさせていたのだということでもあります。

もともと、委員の御懸念もございまして、それを生じれば私どもの方に直通でお話しをいただく、また、それぞれの地域においてフォロアアップということもしっかりと行って、これはしっかりとやらせていただきたいというふうには思っております。

○山井委員 一昨日も、医師である私たちの仲間の岡本議員が、十四日間のカウントが本當に二月の五日からでいいのか、やはり下船をしても戻らなくても健康管理期間を一度リセットして設けるべきではないかという提案をさせていただいております。

やはり、これは二千四百人を検査して五百四十二人が感染、五人に一人が感染している。今まさに二週間の健康管理期間をとったとおっしゃいましたが、まことに失礼ながら、あのクルーズ船の中は、レッドゾーンとグリーンゾーン、安全な地域と安全でない場所もごちゃごちゃになっている可能性があるんじゃないんです。そうなること、一から、二週間のそれこそ健康確保期間をカウントすべきじゃないかと私は思います。

ついては、陰性だとおっしゃいましたが、検体をとったのはいつとられたんですか、その五百人

の方については。

○加藤国務大臣 これは、それぞれの方々によって違います。

大休、ちよっと今手元に数字がないので恐縮ですけれども、この十四日間の真ん中ぐらいから、今回の高齢者等々については適宜進め、そして直近において、七十歳未満の方から検体を採取するということがあります。

○山井委員 いや、これ、昨日も八十八人、新たに感染者が出ておられるんですね。ということは、検体をとってから感染した人もおられる可能性があるんじゃないんですか。いかがですか。

○加藤国務大臣 そこについても、感染研から、十四日間のどこかで検体をとって陰性であり、その間に体調等の変化がなければという判断をいただいている。それを踏まえて、今回の措置をとらせていただいたということでもあります。

○山井委員 もちろん、専門家の方々には私も尊敬しております。ただ、繰り返言いますけれども、昨日も八十八人が感染されています。五人が一人が感染されているんですよ、このクルーズ船の中で、残念ながら、そういう非常にホットゾーンとも言われる中で、昨日感染した人もいる可能性、ゼロじゃないんじゃないんですか。加藤大臣、いかがですか。

きょうおられる五百人の中で、陰性だったけれども、きのう、もししたら、一人か二人かもしませんが、感染した可能性、おられる可能性があるんじゃないんですか。いかがですか。

○棚橋委員長 お静かに。

○加藤国務大臣 したがって、わからない中で、どの範囲でコントロールをしていくのかということとが私は最大の課題だと思っています。

したがって、念のためということが続ければ、じゃ、本当に十四日間でもいいのか。これも正直言つて、これまでエビデンスを、十四日ということをおっしゃられただけで、中にはそれを超える、そうした報道もありました。したがって、要するに、どこで判断するかということなんだと思います。そこで判断の判断はやはり我々が、もちろん最終的な責任は私や政府にあります。しかし、その前提においては、専門家の方々の意見を聞きながら判断をしないと、専門家の方々の意見を聞きながら私は判断をいかなきゃいけないということとで、今回の結論に至ったということでもあります。

○山井委員 私は、本当に加藤大臣は今正直におっしゃってくださったと思うんですね、自分たちでもわからない、ということではあれば、最悪の事態を想定して対応するというのが感染症対策なんじゃないんですか。

専門家の方々の意見も確かに分かれているんですよ、割れているんですよ。でも、先ほども言いましたように、感染経路がわからなくなってしまう方がふえているわけで、あえて申し上げますが、じゃ、五百人の方、きょう五百人、今後どんどんどんどんふえていって、その方が新幹線に乗られて、電車に乗られて、会合に出られて、集会に出られて、デパートに行かれたら、もう今後感染経路は追えなくなりますよ。屋形船どころじ

○加藤国務大臣 そのゼロの議論というのは非常に難しいわけでありますので、そこも含めて、私どもは、やはりそういう意味での専門家の判断を仰ぎながら対応させていただいている。

それから、今委員から御指摘もありました。一方で、この十四日間、大変な御苦労の中で過ごさされてきた、そうした皆さん方の立場、これも私たちが守るべき国民の一人。そして同時に、その方が出ていくことによって感染の拡大があつてはならない。このバランスの中で、どこをとるべきなのか。

委員の御指摘も、私、わからないわけではありませんが、私どもの主張も一部御理解をいただけているのではないかと思います。その中でどうやって判断をしていくのか。最終的には、政治的判断ではなくて、やはりそうした専門家の判断を受けながら、我々が最終的に責任を持って判断をしていく。

そういうことで今回の対応措置をとりながら、しかし、これからのことも、念のために、今回のこれから下船される皆さん方には、もちろん、お住まい等は全部承知をし、地元の保健所等においてしっかりとフォローアップをし、我々もその数字をしっかりと把握する、そういう対応をとらせていただいているということでもあります。

○山井委員 繰り返言いますけれども、私たちもこのことで政争の具にする気は全くありません。野党としても全面的に協力したいと思っております。ただ、本当に申しわけないんですけれども、専門家の方々の意見を聞いてきつちりやっていますと

やないですよ。もう日本じゅうに、どこでどういう動線をとったかなんかというのはだれもせんから、万が一そんなことになったら、これは大変なことになるんじゃないんですか。

だから、加藤大臣がわからないとおっしゃるのであれば、最悪の状態をやはり考えて、おっしゃったように、じゃ、二週間で十分か。でも、そこは、先ほども言いましたように、アメリカとか諸外国では二週間隔離しているところも幾つかあるわけですよ。別に、私、一月月とか二月月とか言っているわけじゃないんですよ。

やはりこれは、繰り返言いますよ。先日も私は言ったじゃないですか。チャーター機からおりて、やはり二週間は隔離してもらわなければならないけれども、必要なんじゃないかと申したら、いやいや、本人がどうしても自宅に帰りたいと言ったらもうしょうがないんですよ。やはり言ったとおり、一人感染していったじゃないですか。

今回、同じことが起こった、それどころじゃないですよ。やはりそこは最悪のことを考えて、きょう、もう下船を始めていられるわけなんですけれども、やはり隔離を何とか二週間、隔離と言ふ言葉は悪いけれども、健康管理期間をつくるということ。私は、これはやはり国民全体にリスクが及ぶ問題ですから、先ほど厚労省と政府の責任でとおっしゃるけれども、責任をとり切れないと思いませんよ、これ。責任をとり切れないと思いませんよ。

逆に聞きますが、じゃ、きょう下船された方にはどういう注意事項があるんですか。

おっしゃっている割には、クルーズ船では五人に一人が感染してしまっているんですよ。先ほども言ったように、中国以外の世界の感染者の千のうち、五百人以上がこのクルーズ船なんです。残念ながら、これが成功しているとは言えないんですよ。WHOからも海外からも批判されているんですよ、残念ながら。

そういう、残念ながら、このクルーズ船の対応がうまくいかに、感染者が減るところか、どんどんふえていっている。そういう延長線上で、きょう五百人。

わかりますよ。私は、もう今まで二週間つらい思いをされたから、下船をしていただくのは賛成ですよ。ただ、やはり、御自宅に帰ってもらう、満員電車に乗ってもらう、デパートに買い物に行ってもらう、映画を見に行ってもらおうということまで、本当にこれをオーケーにしていいるだろうか。これは私も、こういうことは本当に、風評被害になつたらためなのではないですか。言いたくないけれども、加藤大臣もおっしゃったそのバランスを考えながらも、私は、苦渋の選択かもしれないけれども、念のため、快適な場所と二週間は隔離する、やはりそれが賢明な判断ではないかと思えますが、いかがですか。

○加藤国務大臣 もちろん、念のためとおっしゃるところ、わからなくはありません。ただ、その念のためということをやれば、正直言つて、最初に申し上げた、この新型コロナウイルスというのはわからないんです。わからない。（発言する者あり）

○加藤国務大臣 下船される方々に関しては、下船した後、一般的な衛生対策の徹底、健康状態の毎日のチェック、そして厚労省からは定期的に健康状態を確認させていただきまします。したがって、連絡先をこちらの方に教えていただくということも、また、せきや発熱が出た場合には、直ちに私どもの、これは特別なコールセンターとメールアドレスを用意しておりますので、そこへ連絡をいただく、こういう対応をとらせていただいているところでもあります。

○山井委員 熱が出たらコールセンターに連絡してください。もうそれは手おくれなんじゃないんですか、そのときには。

そうしたら、学校に行ってもいいんですか。仕事に行ってもいいということに当然なるということですか。満員電車にも乗ってもいいということですか。念のため。

○加藤国務大臣 ですからそこは、最初に話を申し上げた、感染研の中で、それをクリアしていれば公共交通機関も使って差し支えない、こういう判断があり、そして、今回の状況もいろいろ出させていただく中で、最終的に今回の下船のオペレーション。

ただ、十四日間こうした船内におられたという事情もあつて、今申し上げたことを、念のためにこうした行動にさせていただく、こういうことをお願いをしているということでもあります。

○山井委員 私、御家族や知り合いや会社の同僚の方々も、正直言つて多少戸惑われる部分があると思うんですよ。偏見は絶対持つてはならない

んですけれども。これ、クルーズ船の中で、先ほどの岩田医師が指摘されていた危険なゾーン、ウイルスが多いと見られるレッドゾーンと安全なグリーンゾーンというのは、そもそも今仕分けられているんですか、きつちり。

○加藤国務大臣 今回のオペレーションを的確にするために、横浜の現地に私どもの橋本副大臣と自見政務官に、これはもうずっと行っていることについてお聞きします。自見政務官は医師という立場もあり

その自見政務官から報告を受けたところ、船内の区域管理は適切に実施されているかを含め、船内の感染管理については、感染症防御チームの専門家の医師が船内を見ていただき、そして指摘があれば、それをその日のうちに対応しているということがあります。

○山井委員 私は疑うわけではないんですけども、全力で頑張ってくださいということには敬意を表したいとは思いますが、やはり物事は結果です。先ほども言いましたように、二千五百人検査をしたうち約五百人、五人に一人が感染しているということは、この二週間、クルーズ船の中にいてそこで健康管理ができたというよりも、残念ながら、この二週間、非常にウイルスが蔓延している空間にいたと言わざるを得ないんじゃないかと思うんです。

だからこそ、岡本議員が指摘されたように、クルーズ船に乗ったときから二週間と考えるんじゃないかと、やはり、おりましたときから二週間、健康管

理のために隔離するということを含めたためにする必要があるのでないかと思えます。

繰り返しになりますが、先ほどの加藤大臣の答弁によると、二週間の中でどこかで検体をとって検査したということは、その検体をとって検査した後、きのうとかおとつ、新たに感染してしまっている人がクルーズ船内について、その人がきょう、あしたと下船される危険性、可能性というのは否定されないということでしょうか。

○加藤国務大臣 でずから、そのところについては、一定の感染防止の対策はとられている、これは当然前提になるわけでありまして。

乗客の方々には基本的に船室から出ないということをお願いをし、また、乗組員の皆さんにも、もちろん陽性であれば当たり前ではなくて、その人の濃厚接触者も含めてサービスを控えていただく。また、そうした以外の働いている方々についても、マスクをつけて、手袋をつけて、こういった行動規範といいますか行動ルールも、専門家の御要請を聞きながら、そうした管理下でやってきました。そしてその中で、乗客の皆さんも我慢をしてそれに従っていただいていた。こういうことでもあります。

○山井委員 くだいようですが、改めてお聞きし

ますが、二週間、この下船をされた方々に、申しわけないですけども、人権に配慮しながら隔離をするということをするれば、その最大のデメリット、それができない理由というのはどういふことですか。

○加藤国務大臣 それができる、できないというよりも、現時点でどういふ判断が合理的なのかというところについて、今の専門家の御判断を踏まえて決めさせていただいたということでもあります。

例えばアメリカは、最終的に、陽性かどうかも判定していない方も一緒になって彼らはチャーター便で搬送されていますから、そういうオペレーションをすれば、当然、その段階でカウントは切れるということになるんじゃないかと思えます。

○山井委員 時間が来ましたので終わりたいと思

いますが、最後に一言。加藤大臣もこの新型コロナウイルスの今後の感染等々についてわからないとおっしゃるのであれば、やはり最悪のことを考えて、申しわけないけれども、下船をした方々には二週間ぐらい隔離をさせていただくというこの判断が私は本当に必要なのではないかと思います。以上で質問を終わります。ありがとうございました。

記事利用について

日本経済新聞

茂木外相「9カ国が日本などへ渡航抑制」 新型肺炎

2020/2/21 10:41 | 日本経済新聞 電子版

茂木敏充外相は21日の閣議後の記者会見で、新型コロナウイルスの感染拡大を巡り「これまでに確認したところ9カ国の関係当局が日本を含む感染者が所在する国、地域への渡航抑制を呼びかけている」と明らかにした。9カ国はミクロネシア、トンガ、サモア、イスラエル、キリバス、ソロモン諸島、韓国、タイ、ブータンだと説明した。

米国や台湾の関係当局が日本渡航に関して注意喚起する発信をしているとも表明した。「日本での感染防止の徹底や安全性などについて引き続き適宜適切な情報発信、説明をしていきたい」と強調した。

出所：日本経済新聞電子版 2020/2/21

船内感染 国際ルールなし

ダイヤモンド・プリンセスの概要

船籍	英国
運航会社	プリンセス・クルーズ(米国)
総トン数	11万5875 <small>ト</small>
巡航速度	22ノット(時速41ノット)
全長	290 <small>メートル</small>
全幅	37.5 <small>メートル</small>
建造年	2004年
航行区域	アジア
乗員数	1045人
乗客数	2666人(うち日本人1281人)

※日本の客船運営会社「カーニバル・ツインズ」のホムベーク号などによる、乗員・乗客数には入港時は含まれない



感染が確認された乗客の国・地域別内訳

日本	247人
米国	77人
カナダ	45人
フィリピン	43人
オーストラリア	37人
中国	24人
香港	17人
インド	8人
英国	8人
台湾	5人
その他	31人
合計	542人

※18日に厚生労働省発表。乗客リストによると、香港と台湾の感染患者の合計はそれぞれ1人の誤記が米国内、中国の75.5人が香港

茂木敏充外相は18日の記者会見で、クルーズ船の外国籍の乗客の選定をめぐるカギが、イタリア、韓国などが船内感染を連座する意向であることを取り、他国・地域からも今後同様の要請が寄せられる可能性はある」と述べた。台湾も選定の方針で、既にチャーター機で乗客の米国人と

肺炎を引き起こす新型コロナウイルスの集団感染で、横浜港に停泊中のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の乗客で感染と判明した人が19日から順次下船する。感染が拡大する外国船籍の大規模船が寄港した例は過去になく、政府は難しい対応を迫られたが海外メディアからは批判もあつた。今後、同様の事態が起きない保証はなく、船籍国と寄港国の義務や負担に関する新たなルールづくりが課題となる。

日本対応 海外が批判

船籍国・英は沈黙貫く

18日、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の船国のため韓国が羽田空港に派遣した大規模消毒用機(ロイター)

早朝に下船・出国する者には「ない」と断明(野田大郎防衛相のツイッタ)。チャーター機派遣時には「日本政府の対応に感謝している」と述べた。菅義偉官房長官は18日の記者会見で、船内感染の対応について「適切だと思う」と強調した。政府はダイヤモンド・プリンセスが横浜港に入った8日から船内で検疫を開始し、その後、医師の派遣や医薬品の配布などの支援を続けてきた。こうした対応は国際法上の義務によるものではない。ただ、入港を拒否すれば、人権上の批判を招くのは確実で、1千人を超える日本人乗客がいる

【シンガポール 森鶴】新型コロナウイルスに感染した疑いのある乗客がいるとして日本などが入港を拒否したクルーズ船「ウエストナルダム」をめぐる、感染確認が不十分なまま下船を認めたカンボジアの対応に批判の声が上がっている。下船者に感染が確認されたため、地元衛生当局は国内に残る乗客にウイルス検査を行う予定が、既に船内の乗客は世界に拡散。「カンボジア」での感染拡大が懸念される。1日に香港を出発したウエストナルダムは日本やフィリピン、タイなどが受け入れを拒否したが、韓国国内的なブ・セン首相が押込むべきは感染そのものではなく、感染する者だ」として入港を許可。乗客乗員約3300人のうち、体調不良を訴えた約20人のウイ

カンボジア 批判の的

日本拒否の船 検査不十分で下船許可

船の保護は、その船籍の国(船籍国)の責任で行うべきだとする「旗国主義」の考え方があつた。しかし、今回のようなケースでは、船籍国の中で、どの国が一時的な対応や負担の義務を負うかについて取り決めがないのが実情だ。政府高官が「来る前からかなり蔓延しているはずだ。船内でパーティを開いていたら」と語るように、日本の領海に入る前から船内では感染が広がっていたと確信は高い。菅氏は18日の記者会見で「全て終わった後にクルーズ船対策の良かった点を悪かった点を検証し、次に活かしていきたいと思います」と述べた。今後の教訓を得るため

以上、受け入れないという選択はなかった。一方、ダイヤモンド・プリンセスは英国船籍だが、これまでのところ英政府の動きは全くといっていいほど見えない。国際法には、公海上の船



【ワシントン】在日米大使館によると、肺炎を引き起こす新型コロナウイルスの感染が拡大したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」から下船した米国人乗客328人が米政府の手

負うかについて取り決めがないのが実情だ。政府高官が「来る前からかなり蔓延しているはずだ。船内でパーティを開いていたら」と語るように、日本の領海に入る前から船内では感染が広がっていたと確信は高い。菅氏は18日の記者会見で「全て終わった後にクルーズ船対策の良かった点を悪かった点を検証し、次に活かしていきたいと思います」と述べた。今後の教訓を得るため

検査の結果が陽性だったため下船が許可された。日本がクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」から下船に同意したところに対し、カンボジアの対応を賞賛する声が上がった。米国人が600人以上乗船しており、トランプ米大統領は「好意を恐れない」として入港を許可。乗客乗員約3300人のうち、体調不良を訴えた約20人のウイ

14人が感染

14米へ帰国の

【ワシントン】在日米大使館によると、肺炎を引き起こす新型コロナウイルスの感染が拡大したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」から下船した米国人乗客328人が米政府の手

負うかについて取り決めがないのが実情だ。政府高官が「来る前からかなり蔓延しているはずだ。船内でパーティを開いていたら」と語るように、日本の領海に入る前から船内では感染が広がっていたと確信は高い。菅氏は18日の記者会見で「全て終わった後にクルーズ船対策の良かった点を悪かった点を検証し、次に活かしていきたいと思います」と述べた。今後の教訓を得るため



【ワシントン】在日米大使館によると、肺炎を引き起こす新型コロナウイルスの感染が拡大したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」から下船した米国人乗客328人が米政府の手

【ワシントン】在日米大使館によると、肺炎を引き起こす新型コロナウイルスの感染が拡大したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」から下船した米国人乗客328人が米政府の手

【ワシントン】在日米大使館によると、肺炎を引き起こす新型コロナウイルスの感染が拡大したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」から下船した米国人乗客328人が米政府の手

クルーズ船 割れる対応

新型コロナウイルスの集団感染が起きている大型クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号から19日、乗客が下船を始める。検査で感染が確認されなかった人について、厚生労働省は目録生活に戻って問題がないとする。自国民の乗客を遣送させ、その後も14日間の隔離を続ける米国などは対応が大きく異なる。

▶1面参照

日本 陰性なら下船後は自由

ダイヤモンド・プリンセス号の乗客の下船について、厚生労働省は、14日間健康観察期間中にできる発熱などの症状がなくウイルス検査で陰性であれば下船しても問題ないとの見解を示している。その判断の根拠が、政府が用意した手

新型肺炎

チャーター機で感染地の中国湖北省武漢市から帰国した人たちのチャーター機。乗客はチャーター機の乗客が過ごした施設と同様の感染防止策が船内でとられており、感染は広がっていないと判断。このため、検伏期間を過ぎ検査で陰性だった人は下船させることにした。また下船

米など 帰国後14日間隔離方針

ダイヤモンド・プリンセス号から自国民を遣送させるべきだと最初に判断したのは、米国だった。在日米国大使館は8日に乗客向けの手紙で「船の自衛にとどまるのが、感染を防ぐために最も安全な選択だ」としていたが、船内の感染者数がどんどん増えるなかで方針を転換。15日には遣送を決め、17日に328人が退避した。

米国立アレルギー・感染病研究所のアソニート・フアチ所長は18日、CBSテレビとのインタビューで「船内の感染力を見ると、ホットスポットにいることと実質的に同じだ」と発言。船内に感染した可能性を考慮し、チャーター機で帰国した米市民は、さらに航空基地で14日間の隔離を義務づけることを説明した。当初の感染の中心地だった、中国・湖北省からの帰国者

と同じ措置だ。米国はチャーター機に乗らなかった場合、少なくとも8月4日まで帰国を認めない。他の国も、同様の措置を取っている。19日にチャーター機で約200人を遣送させるオーストラリアは、建設作業員用の宿泊施設で14日間隔離する。保健省幹部は「船内で最近まで感染例が明らかになってきたことを踏まえると、予防的な措置を取らないといけない

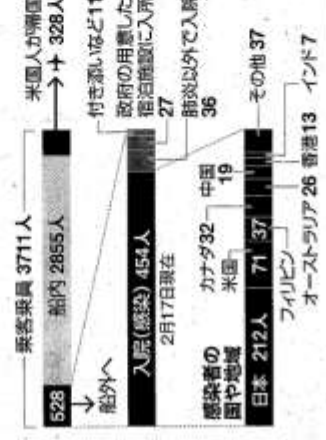
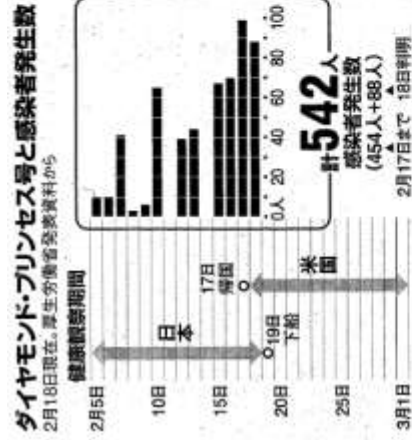
」と説明した。300人の乗客の住民が乗船している香港政府は19日にもチャーター機で遣送させた後、暫定的に14日間隔離する予定。台湾当局も、約20人の台湾人乗客をチャーター機で遣送させる準備を進めており、戻った後は14日間の隔離措置を取る。再び隔離する理由について新型肺炎対策本部は「日本の検査技術を信頼しているが、新型コ

ロウイルスは悪質い、さらに隔離期間を延ばすことが、台湾社会も乗客個人にとつて良いことだ」と話す。世界保健機関（WHO）で感染症対策を担当するシルビー・ブリアン氏は17日、「船という環境で感染の予防を確実に実行するのは非常に難しい」との鼻筋を示し、「ロウイルスなど別のタイプの感染でも同様だった」と説明した。

「『新たな感染なし』には疑問」「手洗い指導を徹底すべきだ」

専門家

専門家はこう見るのか。WHOで感染症対策の専門官を務めた中島一敏・大東文化大学教授（感染症学）は、米豪などの対応はクルーズ船内で待機中に感染したことを想定しているからだと言明する。中島教授は「感染拡大してなければ感染者の数は減るのが自然。直前に亡くなったのは感染者が見つかっているのだから14日間で新たな感染が起きているというのは疑問だ。日本政府は十分納得できる説明をしたほうが良い」と話す。グローバルヘルスケアクリニック（東京都千代田区）の水野泰孝院長も「船内で感染対策が徹底され、封じ込められているのには疑問」と話し、海外の対応に一定の理解を示す。ただ「これ以上船内にどのような必要性は無い」と。「今後さらに感染対策ができれば人どうつす可能性は低い」と説明。乗客に下船後も手洗いなどを徹底するよう指導すべきだという。



米中協定発効

新型肺炎で波乱が 輸入拡大進まぬ恐れ

ワシントン＝塩原水
久 北京＝塚原幸一「第
一段階」の貿易協定の発効
を受けて米中両政府が削減
関税の一部を引き下げたこ
とで世界経済を巻き込んだ
貿易戦争は「一時休戦」に
入った。米国のトランプ政
権や中国共産党は、中国がどこ
まで協定を厳格に履行する
かを監視する考えだが、中国
は協定を引き起す新型コ
ロナウイルスの懸念という
新たな経済リスクに直面し
ている。協定の柱である米

製品の輸入拡大が短期的に
鈍くなる恐れが浮上する
など、米中協定をめぐり新
たな経済課題となる可能性
がある。
「加盟企業の大半は今後
どう進展するかを注視して
いる」
中国に輸出する米大手生
産で構成する「米中ビジネス
協議会」のアラン会長は
13日の記者会見で協定につ
いてこう述べた。
聞き取り調査では、約8
割の加盟企業が台資愛好風

的に評価。ただ関税合戦で
米中貿易が打撃を受け、
「恩恵がコストを上回ら
ない」と考えたのは19%にと
どまった。
一方、電機ネットメイ
ク「電機01」は、中国経済
が覆かれた現状について
「多岐多岐不確実性」に直面
していること指摘。米国の
貿易協定が一段落してある
環境で協定を巻き取り戻す
はずだったが、新型コロナウイルス
という想定外の事
題が、中国経済を揺さぶ

る。
今後の米中協定への影響
も懸念されている。第1身
障の協定では、中国が農産
品や工業品などの輸入を増
やす数値目標が盛り込まれ
ているが、中国では工業製
品やエネルギーなど多くの
分野で需要が落ち込んだい

とみられる。さらなる感
染拡大を防止するため
中国各地で企業活動が制限
を受けているためだ。
7日に行われた米中両首
脳による電話会談では、第
1段階の協定を履行してい
くことぞ「取。また、中国
の貿易政策が米中両首

脳が米中協定に対し、米農産
品はその大規模購入が実現
する可能性があることを
米側が明らかにしている。
貿易収支に暗闇がかかり、
中国による米産品の購入計
画が大幅に遅れたのは米国内
で米需が薄まりかねない。
(1面参照)

IOC 五輪は予定通り 「日本の公衆衛生を信頼」

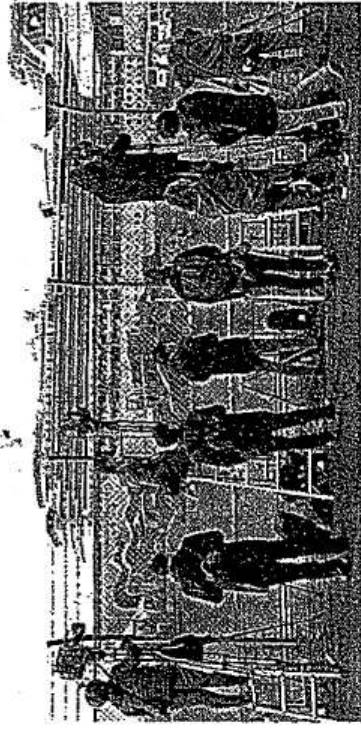
新型コロナウイルスによ
る肺炎が拡大する中、国際
オリンピック委員会（IOC）
のトーマス・バクが14日、東京五輪の開催に
関して「日本の公衆衛生を信頼して

いる」と述べ、東京五輪を
予定通り開催する考えを示
した。14日からの日開行
われた、東京五輪の準備状況
を随時更新する大会組織委員
会などの事務折衝後の記者

会見で語った。
トーマス氏は世界保健機関
（WHO）から「中止を延
期は特に必要がない」と伝
えられたことを受け、WHO
要旨の文を基に、事務折衝

措置は適切」と評価した。
事務折衝では今後、情報共
有を促すことと確認。
組織委員会の発表声明には感染
拡大が続いた場合、無観客
で試合を行うなどの非常措
置を取るかどうかも問われ
「まだ考えていない」
と答えた。
前向きなメッセージを五
輪では、5カ線の流行を懸
念した一部選手が出場を真
合させた。トーマス氏は「情
報を十分に伝えきれなかつ
たのが一つの理由」と振り返
り「感染リスク」など
一連の行事にどういった影響
が出るか、一階市民や観光
客への情報提供も重要だと
指摘。組織委員も政府に対
し「非難に重要な仕事は待
つていよう」と述べ、的確な
情報提供を求めた。

停泊中のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」を取材する
内外メディア



クルーズ船「第二」の感染中心地

横浜港に停泊中のクルーズ船
「ダイヤモンド・プリンセス」で
広がる新型コロナウイルスの感染
感染に関し、日本政府の対応に海
外から厳しい視線が向けられてい
る。乗船者がメディアを通じて
船内環境に不満の声を上げ、それ
に各国政府が不安を覚悟。14
日には高齢者ら一部乗客の下船が
始まったが、自国民の下船を求
める動きは今後さらに拡大するお
それら。
日本の対応は体系立てておら
ず、カオス（混沌）だ。24人の
乗客が確認されているロシアで
は、外務省のサハロフ報道官がラ
ジオ番組で日本政府を厳しく非
難。これほどの対応には多くの
疑問がある」といって手をあらい
にした。
米国人乗船者の感染も相次ぎ確
定される中、国内では船内に乗
客乗員をどう扱うかにも疑問視す
る報道が拡大。クルーズ船を中国
・武漢に次ぐ「第二の感染中心

海外メディア 政府対応に厳しい視線

地」を懸念するメディアもあり
CNNテレビは「私たちは安全を
衡量的な環境で検査を受けるべき
だと訴える乗客の米国人女性の
声を生かした。
イスラエル新報は14日、国
際線の乗船者も人々を待たせまよ
う日本側に懸念し、代客回を派遣
すると発表した。国際でも、乗船
者らが一日も早い帰国を求め政府
に願う様子が報じられてお
り、カッツ外相は「困難に直面して
あらゆる努力を尽くすと語った。
一方、世界保健機関（WHO）
で緊急事態への対応を統括するマ
イク・ライアン氏は13日の記者会
見で「ダイヤモンド・プリンセス
のケースを除き、中国国外での感
染の劇的な増加は見られない」と
発言。同船の状況を深刻に受け止
める姿勢を強調した上で、船内に
残る乗客が快適に過ごす方法を
日本当局と協議していると説明し
た。（飯島和正 時評選也）
――1面参照

乗客から死者 何が

乗客2人の死。大型クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客は、新型コロナウイルスで重症化する高齢者が多く、感染拡大はより深刻になりやすい側面があった。政府の対応めぐり、批判の雨が降っている。

▶1面参照



ダイヤモンド・プリンセス号が停泊する横濱港には、下船した乗客を搬送するべく待機していた。20日前、横浜・本牧へから、山本博之撮影

搬送までに1週間・高齢者は重症化リスク

厚生労働省によると亡くなった東京都の80代女性はいずれも船内での集団感染が発覚し、感染防止策が始まったその日だ。女性は翌日に医師の診察を受けたものの、ウイルス検査や病歴への検査などで1週間おいた。もともと早く対処できたのではないが、厚労省が急きょ開いた20日午後の会見で担当者は、「迅速に搬送し、最善の努力を尽くしてきた」と肯定。だが女性を6日に診た医師の判断やその後の診療状況については、「現時点で考えられる情報が少ないと繰り返すなどあった。

一方、神奈川県80代男性は、気管支炎と多くの持病があり、狭心症の治療歴があった。10日に発熱し翌日には呼吸が苦しくなり病室に運ばれた。肺炎が重症化し、20日に亡くなった。肺の中でウイルスが増え、炎症が起き、肺炎になる

時時刻刻

と血中に酸素を取り込みにくくなる。東京医科歯科大の樋口博弘特任教授(呼吸器内科)はこの男性は動いていた心臓の動きがさらに下がり、悪循環に陥った可能性があると指摘。また、年をとると肺の機能は一般に低下する。「高齢者は重症化するし、ので注意が必要」と語る。新型コロナウイルスに感染して発症しない人も多く、発症しても重症が8割。しかし心臓や血管、肺に持病のある人や、高齢者では重症化するリスクが高まってきた。今回の2人はいずれも80代だ。患者約4万5千人を分析した中国疾病対策センター

自室待機の要請 後手に

厚労省発表は20日前の記者会見で、「隔離は有効に行われてきている」と述べ、対応は適切だったと強調した。しかし、午後になると乗客2人の死が判明。午後の記者会見で死亡と隔離措置の関係を問われ、「厚労省にお知らせい

ただ来た」と述べるにとどめた。一方、「全般的クルーズ船に因る対応については、後でしっかり検証したい」とも語った。乗客 政府の対応は後手に回った。事態の深刻さが伝わったのは16日未明。乗客31人の検査結果

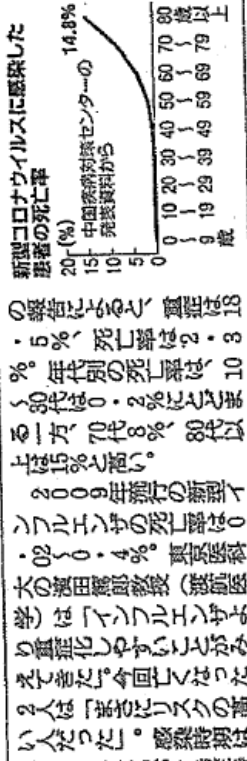
乗客約4万5千人を分析した中国疾病対策センター

乗客は当初、666人、46%が70歳以上だった。(編者 三宅)

乗客は当初、666人、46%が70歳以上だった。(編者 三宅)

してもらうことを求めた。ダイヤモンド・プリンセス号が横濱港に到着したのは5日。5日に最初の検査結果が出るまでの間、政府は乗客乗員の自室待機を要請してはなかった。乗客らは自由に船内を動き回ることができ、感染が拡大した可能性もある。20日の発症率算委員会では「5日より前の時点で船内に対して、部屋に入っていくというお願いはしていた」とと述べ、加藤勝信厚生労働相は「船の中は

全て船客がコントロールしながら、我々はパイプをすくという態勢になっていた」と理解を求めた。乗客乗員のウイルス検査については方針は定まらなかった。当初は症状がない人は検査対象外。「全員に検査をして問題ない人を見分けたらいい」と述べた。政府高官は強そう。一応、政府も想定はしていた。対応しきれなかったところも多かった部分も多い」(編者 三宅)



「対応失敗」海外から批判も

これまでの日本の対応をめぐり、海外では批判や疑問の雨が下がっている。米メディアは、クルーズ船の乗客2人が死亡したことを遺憾。ニューヨーク・タイムズは日本政府が乗客を下船させたことに触れ、「複数の感染症の専門家がその判断を疑問視している」と報じた。国経は、厚労省が福島第一原発事故の際と共通点があるとの米メディアの報道を引用し、「日本はあらゆる面をしっかりと見守るべきだ」と述べた。また、台湾メディアは、日本政府が乗客を船内から下船させたことについて「日本政府はなんと勇氣があるのか」とネット上の発言を紹介する。形を皮肉めじりに疑問を呈した。台湾当局の新型コロナ対策本部は「日本では感染が明らかでない事例が拡大を阻止できなかったと批判される」と分けていた。

また、台湾メディアは、日本政府が乗客を船内から下船させたことについて「日本政府はなんと勇氣があるのか」とネット上の発言を紹介する。形を皮肉めじりに疑問を呈した。台湾当局の新型コロナ対策本部は「日本では感染が明らかでない事例が拡大を阻止できなかったと批判される」と分けていた。(三宅 三宅)

クルーズ船隔離「失敗」

新型肺炎 欧米メディアが批判

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」で新型コロナウイルスの感染が広がったことを受け、欧米主要メディアの批判的な報道が続いている。船内での感染対策の不振を動画サイトで発表した感染症専門医、岩田健太郎神戸大教授の発言も注目された。

「われわれは感染をまだめにシヤール（増養用容器）に入れられたままなのだ」

米紙ウォールストリート・ジャーナル（電子版）は、乗客として船内に滞在する米男性医師のよき証言を伝えた。医師によれば、乗客が食事や物置を届けるために頻繁に窓を開けられるなど、船内での感染予防には抜け穴が多い。同紙は、クルーズ船隔離による感染拡大の阻止は「失敗し

たと指摘した。英BBC（電子版）は、船内と感染区域と安全区域が分かれていないといった岩田氏の指摘を紹介。その上で、船内での感染予防

策は「十分だった可能性があるが、船内感染は『現在進行形』のリスクだと必ず米紙ワシントン・ポスト（電子版）はクルーズ船の問題を伝える。一方、日本は中国湖北省からの入国制限といった措置も出されたこと

中国とASEAN連携強化

外相会議 ウイルス対応に温度差

【シンガポール・報道】新型コロナウイルスの感染が拡大する中、中国と東南アジア諸国連合（ASEAN）各国が連携強化などにこけて話し合う特別外相会議が20日、マニラの首都ビルエニヤンで開かれ、ウイルス拡大を憂いても経済面での連携は維持するとの意見が確認された。

会議は、中国の携帯で閉

田氏の動画を放送し、クルーズ船は「中国にいて、最も深刻なウイルス感染の発生になった」と評した。米紙ワシントン・ポスト（電子版）はクルーズ船の問題を伝える。一方、日本は中国湖北省からの入国制限といった措置も出されたこと

め、中国がASEAN最大の貿易相手国であることを強調。新型コロナウイルスの流行を受け、地域における人と人の交流や、貿易をより活性化活動を共同で維持する」と明言した。両者は環やワクチンの開発努力のほか、情報共有を

進めた人の入国を懸念する一方、カンボジアは制限を設けていない。中国は世界各国が入国制限を厳格化した結果、経済

韓国初の死者 教会で集団感染

【ソウル・教界紀聞】韓国政府は20日、新型コロナウイルスについて新たに53人の感染が確認され、韓国での感染者は計104人にとり上げ、感染者に初め死亡者が出たと発表した。南朝鮮、大邱では、新興宗教団体「新天地イエス教会」の教会に通う信者の間で感染が拡大。韓国保健当局者は「市中感染が広まると危惧」していると述べ、強い警戒感を示した。

死亡したのは、大邱に近い慶尚北道の慶徳に入院していた60代男性で、19日の死後に感染が判明した。韓国では感染拡大がとどまっていた時期があり、文在寅大統領は19日に新型コロナウイルスが「還からず終息するだろう」と誓及。メディアの関心も日本のクルーズ船で

活動が滞ること警戒しており、地理的に近いASEANとは特に緊密な関係を維持したい意向がある。ロシアと中国による、王氏

の感染拡大に移っていた。だが、19日に確認された約20人と合わせ、2日間の感染者急増で、文政権は地方での治療施設の確保など新たな局面に立たされた。韓国の感染者のうち、40人以上が同教会関係者。60

肺炎を引き起こす新型コロナウイルスで感染の鍵となる分子の立体構造は、重症急性呼吸器症候群（SARS）ウイルスのもの比べて人の細胞に感染しやすい特徴がみられたとみる解析結果を、米テキサスオースティン校などのチームが米科学誌サイエンス電子版に19日、発表した。新型コロナウイルスは同じコロナウイルスの仲間SARSウイルスより人から人に感染しやすいとみられてい

は19日、いっ早く入国制限を設けたシンガポールのマクリシヤン外相に対しては、直接風刺を表明した。

代の女性が高齢などの症状が出た後もウイルス検査を拒んでお辞儀に通い、その後陽性となり定された。韓国当局はお辞儀に出席していたとされる計約千人について検査を進めることもに慎重に外出禁止を求めている。

「SARSより感染しやすい構造」

米大、ウイルス解析

肺炎を引き起こす新型コロナウイルスで感染の鍵となる分子の立体構造は、重症急性呼吸器症候群（SARS）ウイルスのもの比べて人の細胞に感染しやすい特徴がみられたとみる解析結果を、米テキサスオースティン校などのチームが米科学誌サイエンス電子版に19日、発表した。新型コロナウイルスは同じコロナウイルスの仲間SARSウイルスより人から人に感染しやすいとみられてい

（ワシントン 共同）

船内感染対策 疑念の目

時時刻刻

600人超感染／マスクせぬ人／「予防不十分」

よるく、大野クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号から乗客の下船が始まった。半月ほどの期間に新型コロナウイルスの感染犠牲は、600人を超す。船内の感染対策には国内外から疑念の目が向けられ、ウイルス検査が「陰性」で下船した人も不安を拭ききれない状況だ。

▶1面参照

「感染した人もしてない人も、滞在していたのではないか」

乗客2人でダイヤモンド・プリンセス号に乗り込んでいる男性(29)は、船内の状況についてそう話す。

横浜港に着いたのは、日

夜。到着から数日間、乗員も乗客のなかにマスクや手袋をつけていない人もいたという。

「横浜港に着いてしばらくは、乗員も乗客も感染のリスクだつて、それは深刻にとらえていない雰囲気があり、感染予防は不十分な点もあったと思う」

5日に集団感染が判明し、船内に14日間と経つことになった。時間が経つにつれて体調不良の乗客が増えた。「医療体制が進い

ついでにはなかった。10日ほど前に乗客が感染した際は、自ら歩いて船内の医療室を訪問。受付のいすに7、8人が待っていて、そのまま半分ほど診療を待つたという。また男性の部屋は空がなく、数日に1度は、ほかの乗客とともにゴミ箱に出していた。「危険性に応じて船内の区域を分けていたとは、聞いたことがない」と話す。

一方、船内はフロアごとにアルコール消毒液やゴミ手袋が置かれ、テッパの出入り口では乗員が手に消毒液を吹きかけてくれた。

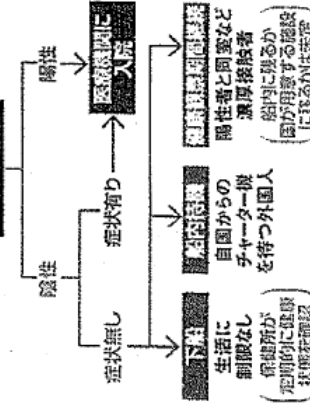
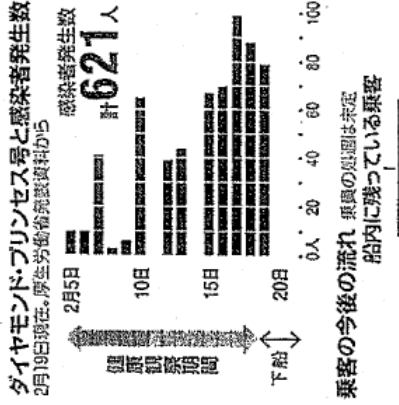
「感染対策のフロアではないながらも、できる範囲の努力をしていたんだと思う。男性はまた、下船の日までは知らされていない。

不安を抱えるのは、乗員も同じだ。

「感染する覚悟で働いているからね」

関東地方の50代の女性は19日、船内で働く20代の娘から、そんなLINEのメッセージを受け取った。

娘の説明によると、横浜港に到着した直後は目録帳から受け取ったマスクを洗って何日も使っていたという。検査で陽性が確認された人の傍観も乗員が担っていたが手袋やマスクとい



健康状態の確認継続 厚労省

乗船して対応にあたった関係医療福祉社の和田耕治教授(公衆衛生学)は、「現時点では、感染対策について制約のある中、順次、改善がされていた」と話す。

安全な区域とそうでない区域は区別されていたが、クルーズ船業務に携わる関係者は、「乗客も乗員も、感染症の発人が多く、運用にはここが危ないとは思

ぬない」と認める。そのうえで「船内と病院の両方の感染管理は確しい。船内を求めるときは専門的な人材が大量に必要となり、事実上、対策が生まれ

た措置が対策しかついでなかった。せきぎとまらないう乗員もおり、救急搬送される人が出始めたという。

乗員が寝泊まりする部屋は相部屋で、食事はすべて食卓では別の乗員と一緒に行っている。娘は「廊下と設備部を持って働いているけど、どうしたらいいんだろう」と泣きながら電話をかけてきたこともあったという。

女性に「現場は混乱しているのでは。不安を抱いたりするのが多いです」と話す。

「泣きながら電話をかけてきたこともあったという。女性に「現場は混乱しているのでは。不安を抱いたりするのが多いです」と話す。

「泣きながら電話をかけてきたこともあったという。女性に「現場は混乱しているのでは。不安を抱いたりするのが多いです」と話す。

区域分け不完全 ■ 拡大予想以上

国内外の専門家は

船内の感染対策が整ったとされる5日から、ウイルスの潜伏期間を考慮した14日間の健康観察が始まった。この間に感染が確認されなければ、問題ないというお墨付きになる。だが、船内の感染者は増え続け、19日時点で621人。5日に降も感染が広がっていたとの疑念が出ている。

「ここにウイルスがいるかわからない状態」「心の底からこわいと感じました。18日に船内に入った感染症専門の和田健太郎・神戸大教授は、YouTubeに船内の状況を説明する動画を公開し、感染対策の不備を強く批判した。

和田さんが最も問題視するのが、感染拡大を防ぐため本来徹底すべきウイルスがない安全な区域とそうでない区域の区別ができていない点だ。安全な区域では本来、ウイルスがつかう防護服を着て入るにはいけない。だが「防護服を着た人が行き来し、知られていなかった」と取材に

答えた。

二次感染が起きている可能性があり、船内で活動する公衆衛生医療チーム(DMAH)の医師などからも「いつ感染してもおかしくない」といった声があったという。

海外からも声は上がる。世界保健機関(WHO)の緊急対応責任者マク・ライアン氏は18日の会見で、日本政府がすべての乗客の船内検疫を決めた当初は「人々が救済するより明らかに望ましい判断だった」とした。その一方、「状況は悪化し、船内で予想以上に感染が広がった」とは明らかに指摘した。

米疾病対策センター(CDC)も同日、日本政府の検査は「公衆衛生上の効果はあったが、船内で感染を防ぐには不十分だった」と評価。下船したすべての乗員乗客について、少なくとも14日間は米国人の渡航を認めないと発表した。

一方、19日夜に開かれた政府の専門家会議終了後、副首相の田中義之・国立感染症研究所長は「感染管理は十分にできていたと会議で判断された」と述べた。

「泣きながら電話をかけてきたこともあったという。女性に「現場は混乱しているのでは。不安を抱いたりするのが多いです」と話す。

「泣きながら電話をかけてきたこともあったという。女性に「現場は混乱しているのでは。不安を抱いたりのが多いです」と話す。

「泣きながら電話をかけてきたこともあったという。女性に「現場は混乱しているのでは。不安を抱いたりのが多いです」と話す。

問、定期的に健康状態を確認する。

和田さんは、「後から感染がわかる人もいると思う。下船後も毎日検閲するなどは体調管理を続けたほうがいい」と指摘する。訪米大船の乗組員で、感染制御センター長は、船内の人と接する機会があった乗員の中にも感染者がいる点をあげ、「陰性で自宅に戻つても人混みには行かず、1週間ほどは自宅を過ぎずのほうがいいのでは」と話す。

新型肺炎

客船留め置き 海外メディア痛烈批判

新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されたから1カ月余。この間、政府の動きは後手に回った印象が否めず、海外メディアなどからも批判の声が上がっている。人類的歴史は感染症との闘いの歴史でもあり、

(片山夏子、大野孝志)



「人から人に感染すると分かっていたのだから、自衛隊などの施設に隔離できなかったのか」。新型コロナウイルスによる肺炎（COVID-19）の集団感染が起きたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の乗客の下船が始まった十九日午前、船が停泊する横浜港大黒（頭）（横浜市鶴見区）に、国内だけでなく海外の

「乗ったままで感染拡大」

「最善のやり方だったか」

①下船者にマスクを向け海外メディア
②ダイヤモンド・プリンセスを脅かしホトト
ろ海外メディア19日、横浜市鶴見区



メディアも多数、集結。フランスのフリーの男性映像記者などはこう話した。先月十五日に新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されて以降、政府の見通しは甘いとの指摘が国内外から出ている。菅義偉官房長官は十六日、「現時点では、持続的な人から人の感染は確認されていない」として冷静な対

「今回の対応が難しく、正解はない」としながら、「大勢が船に乗ったままなら感染は拡大する。日本政府は二週間、何もできな

く最も批判を浴びたのが、クルーズ船への対処の仕方だった。政府は約三千七百人が乗った同船が横浜港に入った二三日、二週間の船内待機を求めた。十九日までに、当初は十人だった感染者は六百二十一人に拡大。米国メディアは「第二の感染の中心地」「公衆衛生の危機の際にやっではない対応の見本」などと類々に非難。米政府は十七日、「乗船者はリスクの高い状態に置かれている」とチャーター機で約三百二十人の米国人を退避させた。

対応を呼び掛けるのにとどまり、対策本部を設置したのは二十日。新型肺炎を「指定感染症」とする政令の施行も、世界保健機関（WHO）の緊急事態宣言が出てから急ぎよ前倒ししている。

「やっではないけな対応」

ロシア・タス通信のイゴリ・ベリヤーエフさん（三）は「三千七百人もいけば、検査も難しくかつたのだらう。ただ、今回が一番いいやり方だったかといつて、意見は分かれる」と説く。英国のテレビ制作会社の男性方メラマン（三）は「検査を手際よく済ませて乗員、乗客を安全に降ろしていれば、東京五輪で注目が集まる中、日本の対応の素晴らしさを世界にアピールできるいい機会だった。それが、とんでもない結果になり、その機会を台無しにした」と語った。

つたのかとの報道もあった」と話した。下船者取材していた他の海外メディアからも厳しい声が続いだ。ブラシルのテレビ局「グローボ」のカルロス・シルさん（三）は、発生源とされる中国湖北省武漢市にいたブラシル人は母国に帰った後、軍の施設に一定期間、隔離されたと説明。「日本国内では感染が広がり、乗員、乗客も多かった。とはいえ、もう少し早く検査をし、他の施設に分散して隔離するなどのやり方があったのではないか」と喝える。

クルーズ船 政府苦慮

新型肺炎

3000人上陸 選択肢なく

乗客の下船が19日に始まったクルーズ船「ダイアモンド・プリンセス」での新型コロナウイルスの感染拡大は、日本政府に前例のない「巨大海上検査」を迫った。米国企業が運航する英国船籍の同船には、56カ国・地域の乗員・乗客約3700人が乗っており、クルーズ中の船内でのパティーツーイベントで感染が拡大した可能性がある。一方、乗員・乗客を船内に隔離して経過を観察した政府の措置には疑問の声も出ている。



政府関係者によると、3000人超が乗る大型船で新型コロナウイルスがまん延するケースは世界でも初めて。各国が注視する中、日本政府にとっては「想定外」（政府高官）の事態が続き、暗中模索の対応となった。

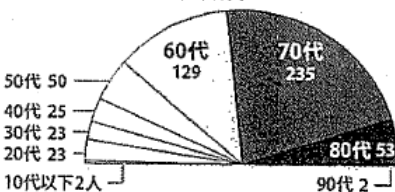
国内で経路不明の感染者が相次ぐ中、下落傾向の内閣支持に影響を与えかねない安部政権は危機感を感じている。菅義偉官房長官は19日の記者会見で、

クルーズ船感染者の国・地域別内訳

日本	247 (人)	中国	24
米国	77	香港	17
カナダ	45	英国	8
フィリピン	43	インド	8
臺灣	37	その他	36

※厚生労働省発表。18日現在

クルーズ船感染者の年齢別内訳



「世界初のクルーズ船での新型コロナウイルス感染まん延に対し、国際法上の責任の所在はありませぬ。国連海洋法条約では、船舶は公海では「旗国」(タイヤモンド・プリンセスは英国)の主権下であり、沿岸から12海里(約22キロ)の領海では沿岸国の主権も及ぶ。運航中の船内の公衆衛生は、運航会社や船長が責任を持つ。領海内での乗客の検疫は、日本に検疫官が乗る必要はないが、義務は規定されていない。船内では「旗国」の法律が優先される。『旗国主権』も事実を覆すにはならない。日本の検疫法に基づいて検疫官の「協力」によって行われる建前となる。条約では公海上の船について各国が自国の行政、技術、社会上の事項を有効に管轄・規制する」ことを求め、他国の領海内でも「旗国」の一定の管轄権が認められる。ただ今回、英国からの対応申し出はなかった。

外務省関係者は「条約の起草者は今回のような事態は想定していなかった。沿岸国、旗国、運航会社、乗員・乗客の出身国の56カ国・地域の役割についてガイドラインがなかった」と指摘する。菅義偉官房長官は19日の記者会見で「感染症対策で国際的な協力体制の構築を含め、望ましい対応を検討したい」と述べ、国際ルールの実効性を訴えた。【田所伸子】

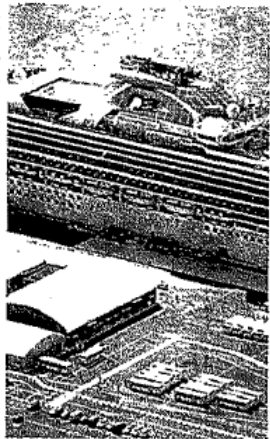
世界初ルール未整備

乗客乗員恐怖と闘い

「21日朝まで下船するつもりだったが、自分たちの検査結果が分かっていない。不安は多い」。船内に夫婦で下船している神戸市の女性乗客(57歳)は、電話取材にこう答えた。夫婦ですでにウイルス検査を受けているが、女性は「陰性で判定されても実際は感染しているのかもしれない」と見えない恐怖感にうか、マニース方向を考慮して「お話ししていた」。

乗客の心理的には過剰な状況に置かれている。外の空気を吸えるデッキは許可があれば出られるが、他人とは隔離して空気を吸う。船内では共用の洗濯機が使えるものの、他人の衣服と交わる恐れがある。自室の乾燥防止のためもあり、昼夜に夫婦で衣服を手洗いして部屋干しするなどの衛生面では最大限気を使っているという。

約1000人と推定されている乗客も乗員も働いている。もう感染する覚悟で働いている。下船が始まった19日、乗員として働く娘を心配する。50代の母親が「LINEでライン」で聞かせる。娘が細切れに返答が返されてきた。これまで伝えた状況では、自室での食事が提供された乗客と異なる。乗員の多くは



「海外で批判報道」

日本政府が無症状の乗員・乗客を船内に隔離し、閉じ込められたという疑問の声が出ている。米紙ウォール・ストリート・ジャーナルはWHO関係者の話を伝え、指摘した。「乗客」を報じたニューヨーク・タイムズ紙は「過剰な例を真に失敗」と指摘。韓国のテレビは「保健衛生当局で世界一流を自負してきた日本の名前に汚点を残した」と非難している。【共同】

「その数十倍を受け入れられなかった」と振り返る。感染者は検査のために増え、船の感染者が区別されるようになったが、日本政府を批判する海外報道が出るのは避けられなかった。

当初は「日本に任せろ」としていた米国民チャーター機を派遣。米国民の乗客328人が17日朝に飛び立った。羽田への輸送パスは自衛隊が運行し、安部首相は16日夕の首相官邸での会見で「米国民から我が国の対応に感謝の意が示された」とアピールした。

政府内には「他国ならどうまく対応できたのか(官邸幹部と不満の声も出る。だが与党でも疑問視する声が出始めた。自民党の鈴木俊一総務会長は18日の記者会見で「全体の印象として、国民が必ずしもポジティブに政府対応を評価していない」と指摘した。秋山信一

クルーズ船日本と異なる対応 各国、帰国後も隔離

新型肺炎

新型コロナウイルスの集団感染が起きたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」を巡っては乗員・乗客のいた各国の政府も対応を急ぐ。ウイルス検査と陰

感染者の帰国「聞いていない」 トランプ氏激怒

新型コロナウイルスへの感染が広がったクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」から下船し、チャーター機で帰国した米国人乗客に感染した14人が含まれていたことに、トランプ大統領が「感染者は日本に残るとの事前説明と異なる」と激怒していたことが分かった。ワシントン・ポスト紙電子版が22日報じた。トランプ氏は事前に説明を受けた際「健康な乗客と感染者が同じ機内にいるべきではない」との考えに同意していた。【ワシントン共同】

て14日間の隔離を実施するなど、帰国を認めなかった日本政府とは異なる措置をとっている。米国人乗客約300人は米政府チャーター機で帰国したが、米疾病対策センター（CDC）は21日、18人の感染が帰国後に確認されたと発表。米政府は、病院に運ばれた人を除

いて空軍基地で14日間の隔離生活を命じた。CDCによると、帰国を拒んだ乗客にも下船後から14日間の待機を求め、症状や陽性反応が出ていないことを確認しなければ帰国できない。14日間が経過する前に米国に到着した場合は強制隔離の措置をとるとしている。陰性が確認された英国人30人とイスラエル人2人は、英政府のチャーター機で22日、イングランド南西部の軍事港に到着。乗客は病院にバスで移動し、14日間の隔離生活を送る。また、台湾は21日夜に戻った台湾人乗客19人に14日間の隔離措置をとっている。日常生活に戻るとを許可した日本政府の対応について、「防衛という概念がないのか」と疑問を感じる民放テレビの報道もある。乗員としては、インドネシア人78人、フィリピン人53人が乗船し、50人以上の感染が判明。西国政府は陰性と判断された乗客を隔離させる方針。だが、インドネシア保健

省幹部は「クルーズ船内の感染源は中国・武漢市を指す。新たな感染源になったと指摘し、帰国後の経過観察期間を従来の倍の28日間に延長する」という。イスラエル乗客11人はチャーター便で21日に帰国し、テルアビブ近郊の病院で14日間の隔離生活を送る。このうち女性1人が検査で陽性反応を示し、国内で初めて感染が確認されたケースになった。イスラエル紙ハレツは、クルーズ船が隔離施設というよりも「新型コロナウイルスの産卵器」になってしまったように論じた。

が、インドネシア保健省幹部は「クルーズ船内の感染源は中国・武漢市を指す。新たな感染源になったと指摘し、帰国後の経過観察期間を従来の倍の28日間に延長する」という。イスラエル乗客11人はチャーター便で21日に帰国し、テルアビブ近郊の病院で14日間の隔離生活を送る。このうち女性1人が検査で陽性反応を示し、国内で初めて感染が確認されたケースになった。イスラエル紙ハレツは、クルーズ船が隔離施設というよりも「新型コロナウイルスの産卵器」になってしまったように論じた。

滞在先 分かれる対応

米、基地の宿舎／日本、ホテルなど

新型コロナウイルスの感染拡大で、各国政府は中国湖北省武漢市や湖北省のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の乗員乗客をチャーター機などで帰国させ、国内の施設に滞在させている。先月末に武漢から帰国した米国人についても他の空軍基地に隔離した。空港から離れた施設への陸路輸送自体が感染リスクになりうることを踏まえれば、空路で基地まで移動し、そのまま基地内施設に移すことは効果的だ。ブラジルも武漢からの乗客に対して同様の対応を取った。クルーズ船から退避した米国人乗客328人は17日、米政府のチャーター機で出国。カリフォルニア州とテキサス州の空軍基地にそれぞれ着陸し、基地内の施設に2週間滞在させている。先月末に武漢から帰国した米国人についても他の空軍基地に隔離した。空港から離れた施設への陸路輸送自体が感染リスクになりうることを踏まえれば、空路で基地まで移動し、そのまま基地内施設に移すことは効果的だ。ブラジルも武漢からの乗客に対して同様の対応を取った。クルーズ船から退避した米国人乗客328人は17日、米政府のチャーター機で出国。カリフォルニア州とテキサス州の空軍基地にそれぞれ着陸し、基地内の施設に2週間滞在させている。先月末に武漢から帰国した米国人についても他の空軍基地に隔離した。空港から離れた施設への陸路輸送自体が感染リスクになりうることを踏まえれば、空路で基地まで移動し、そのまま基地内施設に移すことは効果的だ。ブラジルも武漢からの乗客に対して同様の対応を取った。

る個室を備え、外食を滞在用の個室も多い。一方、自衛隊の隊舎は大部屋でトイレや浴場が共同のため、収容に感染者がいれば拡大の恐れがあるからだ。その代わり、防衛省は乗客の滞在先としてチャーター契約を結んだ民間ホテル「はくちく」の活用を見込んだ。だが、風呂、トイレ付きの部屋が24室しかなく、現時点では総務大学校舎（埼玉浦和と光市）などで足りていることもあり、関係各庁から施設提供の要請はなかった。はくちくは現在、クルーズ船で活動する自衛隊員の宿泊拠点として横浜港内で稼働している。

新型コロナウイルス感染拡大で、帰国者らの隔離先は…

国	隔離先
日本	・埼玉県の防務大学校舎 ・千葉県の財務省民営研究所 ・同僚の勝浦ホテル三日月など
米国	・カリフォルニア州・トラビス空軍基地 ・テキサス州・ラックランド空軍基地など
オーストラリア	・クリスマス島・羅氏希望者滞在施設 ・北部の元液天然ガス基地建設作業員施設
英国	・北西部の病院の看護師用宿舎施設
フランス	・南東部の地中海に面した保養施設
韓国	・牙山市と鎮川郡の公務員研修施設
ブラジル	・中部ゴイアス州の空軍基地

日本では自衛隊の基地や駐屯地の活用は選択肢にならなかった。米軍基地の兵舎はシャワーやトイレがある。クルーズ船から退避した米国人乗客328人は17日、米政府のチャーター機で出国。カリフォルニア州とテキサス州の空軍基地にそれぞれ着陸し、基地内の施設に2週間滞在させている。先月末に武漢から帰国した米国人についても他の空軍基地に隔離した。空港から離れた施設への陸路輸送自体が感染リスクになりうることを踏まえれば、空路で基地まで移動し、そのまま基地内施設に移すことは効果的だ。ブラジルも武漢からの乗客に対して同様の対応を取った。

新型コロナウイルスQ&A

令和2年2月22日時点版

心配な時には

Q1 風邪のような症状があり心配です。どうしたらいいですか？

A 発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。毎日本体温を測定して記録しましょう。

Q3 最寄りの保健所等(帰国者・接触者相談センター)に相談するとどうなりますか？

A 電話での相談を踏まえて、感染の疑いがある場合には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるように調整します。

予防について

Q4 新型コロナウイルスにはどうやって感染しますか？

A 現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。

- ① 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫による「飛沫感染」
- ② ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることによる「接触感染」

医療機関を受診するとき

Q6 医療機関を受診するときに気を付けることはありますか？

A 複数の医療機関を受診せず、「帰国者・接触者相談センター」等から紹介された医療機関(「帰国者・接触者外来」など)を受診してください。受診するときは、マスクを着用し、手洗いや咳エチケットを徹底してください。

Q2 感染したかも?と思ったらどうしたらいいですか？

A 以下の場合には、最寄りの保健所等にある「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談しましょう。

① 風邪の症状や37.5度以上の熱が4日以上続く

② 強いだるさや息苦しさがある



・重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方に加えて、念のため妊婦さんは、こうした状態が2日程度続いたら相談しましょう。

・症状がこの基準に満たない場合には、かかりつけ医や近隣の医療機関にご相談ください。

Q5 感染予防のためにできることはありますか？

A 以下のことを心がけましょう。

- ① 石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い
- ② 正しいマスクの着用を含む咳エチケット
- ③ 高齢者や持病のある方は公共交通機関や人込みを避ける

新型コロナウイルスについて

Q7 感染しても症状が出ない人がいますが、その人からも感染しますか？

A 現状では、はっきりしたことはわかっていません。通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスをうつす可能性も最も高くなると言われています。



首相官邸
Prime Minister's Office of Japan



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

より詳しくお知りになりたい方はこちら

厚生省 コロナ FAQ

検索





パネル写し

出所：東京都港区区内にて山井和則撮影